

THE MEIJI YASUDA CULTURAL FOUNDATION

# 地域の伝統文化

公益財団法人 明治安田クオリティオブライフ文化財団

地域の伝統文化 第30号

令和4年10月3日発行

発行：明治安田クオリティオブライフ文化財団  
編集：専務理事 壁谷 章 可  
住所：〒163-0633  
東京都新宿区西新宿1-25-1  
TEL：03-3349-6194  
FAX：03-3345-6388  
<https://www.meijiyasuda-qol-bunka.or.jp>



「水見市番匠造船で製作された4.5mの伝馬船（水見型）」（令和四年度助成先）『宮崎昭行氏（木造和船製作技術）』写真は左から棟梁（番匠光明氏）、宮崎昭行氏、桶職人（宮崎光一氏）、鋸目立て職人（須藤聖一氏）  
撮影：令和4年6月

## 令和五年度 「地域の伝統文化の継承・発展活動」 に対する費用助成希望受付開始

公益財団法人明治安田クオリティオブライフ文化財団では、平成三年六月に財団を設立以来、地域に伝承されてきた「地域の伝統文化の継承・発展活動」とくに後継者の育成に必要な諸活動に対する助成を行なっています。令和五年度で三三回目をおこないます。

これまでに行なった助成は、累計一三五二件となり、その地域も全国の都道府県に及んでいます。令和五年度も以下の内容により公募を行ないます。

詳細につきましては、各都道府県の教育委員会または知事部局の文化関係所管課に送付してあります「令和五年度助成申込要領」をご覧ください。なお、申込要領の詳細は、財団のホームページにも掲載しています。

### 『申込要領の概要』

【助成対象】  
「地域の民俗芸能」「地域の民俗技術」の継承、とくに後継者育成のための諸活動に努力をしている個人または団体。

【助成の条件】  
令和五年度（二〇二四年三月まで）に後継者育成を目的とする諸費用（道具整備費、製作材料費、育成研修費、記録保存費用など）の支出を予定していること。その支出を賄うために、外部からの資金協力が緊急不可欠であること。

【申込手続】  
一、提出書類  
「申込書」（所定用紙）  
「推薦書」（所定用紙）

「活動状況がわかる写真」  
「直近の収支決算書（写）」  
「参考資料」等  
二、申込に際し、「推薦書」に各都道府県の教育委員会または知事部局の文化関係所管課の推薦・捺印を受けてください。

【手続日程】  
一、申込期限  
令和五年一月三十一日（火）  
二、結果発表  
令和五年三月下旬（予定）

【選考方法手続】  
提出書類に基づき当財団の選考委員会で厳正に審査し、理事会に答申して決定します。

【助成金額】  
一、民俗芸能への助成は、一件につき七〇万円が限度  
二、民俗技術への助成は、一件につき四〇万円が限度

### 【伝統文化分野選考委員】

- 委員長 小島美子  
（国立歴史民俗博物館名誉教授）
- 委員 神野善治  
（武蔵野美術大学名誉教授）
- 委員 田中宣一  
（成城大学名誉教授）
- 委員 西角井正大  
（前日本民族芸能協会会長）
- 委員 星野紘  
（全日本郷土芸能協会理事長・日本民族音楽学会会長）
- 委員 山内彰  
（当財団前事務局長）

（敬称略）

Ⅱ特別寄稿Ⅱ

「ハコ展」からの展望

暮らしの知恵と技を探る

(武蔵野美術大学名誉教授)

神野 善治

(当財団伝統文化分野選考委員)

神野善治先生略歴



東京都出身。七三歳。

慶應義塾大学を卒業。

学生時代から民俗学者宮本常一が所長を務めた日本観光文化研究所で博物館設立の民具収集活動に加わり、昭和四十九年(一九七四)から静岡県沼津市歴史民俗資料館で民俗担当学芸員を二三年間、昭和六十二年(一九八七)からは文化庁民俗文化財調査官として民俗文化財保護活動に二〇年間。平成八年(一九九六)年には國學院大學で博士号(民俗学)を授与される。

平成九年(一九九七)から武蔵野美術大学

造形学部助教授、同十一年(一九九九)に同大学教授となり、博物館学芸員課程、民俗学を担当。

また美術館・図書館館長として一〇年間、数多くの展覧会開催に関わった。

令和二年(二〇二〇) 退任。

現在同大学名誉教授。

昭和五十八年に第三回日本民俗学会研究奨励賞、平成九年に第三六回柳田國男賞受賞。

主な著書に

『人形道祖神―境界神の原像』、『木霊論―家・橋・船の民俗』(いずれも白水社)

主な共著・編著に

『暮らしの伝承 手のかたち・手のちから』『ミュージアムと生涯学習』(いずれも武蔵野美術大学出版局)、『昔の暮らしの道具事典』、『日本のくらしの知恵事典』(いずれも岩崎書店) などがある。

この夏「ハコ展」箱膳から「ハコモ」まで」と題したユニークな展覧会が、岐阜県的美濃加茂市民ミュージアムで開催された(二〇二二年七月十六日〜八月二十八日)。訪ねる機会を得たので、この紹介から話をはじめたい。

名古屋に向かう新幹線のなかで、どんな「ハコ」が並んでいるかを想像しながら、思いつくモノを書き上げてみた。皆さんも試みていただくと、このあとの話が少しは面白くなるかもしれない。芸能関係者ならば「ハコ」と言えば「三味線」を思い浮かべる方がいるかもしれないし、「箱まわし」の木偶の箱なども。はじめに訪ねた博物館は、名古屋からJR高山本線の特急で約四〇分の美濃太田駅で下車し、車で一〇分ほどの「文化の森」の中にあつた。特徴的な塔がそびえる本館と別に民家や民具の蔵の施設と展示も充実している。



美濃加茂市民ミュージアム

目あての展示は、予想どおりに地味なもので、展示品はまさに「ハコ」ばかり。ざっと数えると総数三〇〇点近く、一〇〇種類ほどが整然と並んでいた。ほぼ館蔵品で構成されており、そのバリエーションの豊富さから、この館の収蔵

資料の充実度が伺われた。若い学芸員さんの話を聞きながら一時間ほど見せていただいたあと、お洒落なレストランでのランチをはさんで、午後も含めて三時間あまり、ゆっくり見学したが、展示資料をすべて熟読し、解説文を読み尽くすことができないほど中味たっぷりの展示だった。新幹線のなかで思い浮かべた「ハコ」は約一〇〇種類。その半分は展示に登場したが、思い浮かばなくても知っていたモノも多く、謎解きと出会いの楽しさを覚えながらの観覧になった。はじめに出会ったモノも多かった。たとえば「召集用状箱」は「召集令状」いわゆる「赤紙」を配達した箱。赤い小箱の側面には、配達人の心得が詳細に書き込まれている。世に知られていない「新発見」資料ではないかと思った。



召集用状箱  
美濃加茂市民ミュージアム蔵 (以下同)

## 「ハコ」を仕分ける

多様な「ハコ」をこの展示では次の項目に分けて紹介。①ハコで味わう、②ハコに入れる、③ハコを使う、④ハコに仕舞う、⑤ハコで運ぶ、⑥ハコに詰める、⑦ハコで売り出す、⑧ハコをもう一度使う、⑨ハコをさまざまに使う、⑩鈴木源吾のハコ、⑪文学のハコ、⑫博物館のハコ、⑬データボックスとしてのハコ、⑭「はこもの」としての博物館、以上である。鈴木源吾さんは国際的に活躍した地元の名士だという。番号は私が勝手にふったものである。

展覧会の主旨は「さまざまな素材やかたち、用途を持つ箱、その世界を取蔵資料を中心に紹介しながら、「作る」「使う」「楽しむ」などが箱に対して寄せられる思いを探っていきます。また、いとおしく魅せられた箱などを市民から提供いただき、その気持ちを共有し、あわせて「ハコモノ」といわれる博物館のミュージアム像も考えてみます」とある。

「ハコ」の使い方の微妙なバリエーションを考え、地域色も加味して、市民から寄せられた「ハコ」と、それらに伴う思い出のエピソードも紹介されている。「ハコ」の世界の多様性を示し、いろいろな気付きを誘い出してくれる魅力的な展示になっていた。

テーマごとに展示コーナーを見ていくと、「①ハコで味わう」では、「箱膳」がずらりと並ぶ。「箱膳」は、よく知られている民具だが、念のため説明しておく、日常の食事で家族のひとりずつが

自分の箱膳を持っていて、飯茶碗や汁椀や箸などをこのハコに入れておき、食事のときには蓋を裏返してお膳にして用いる。食べ終わると椀類に白湯を入れて飲み、布巾でぬぐって、また収納するといふものだった。卓袱台（ちゃぶだい）などが登場して家族がひとつのテーブルで食事をするようになるまで広く各地で用いられていた。美濃加茂市は飛騨への街道の入口に位置するため「箱膳」も伊勢山田産の春慶塗と木曾春慶塗の二種類がちよほど競合しており、それぞれの生産者の印が押されたものが展示され、塗りの具合や寸法に微妙な違いがあることが示されていた。「箱膳」の地域的あり方を示してくれた、はじめての展示だった。

その隣には、晴れの日の食事に用いられた美しい塗物の「切り溜め」と、いく重にも重なる「入れ子」が並ぶ。また、なつかしい「弁当箱」の類もずらりと。その間に「くるみ膳」と「切貝膳」の二種類の「お膳」があった。若い学芸員は「切貝」は「さりかい」と読んだが、私は「せっかい」と読むのではないかと提言した。脚のカタチが「せっかい（切匙）」のカタチに見えなくもない。切匙は、飯杓子（杓文字）をタテに二つに割ったようなカタチのヘラ類で、挿鉢を使ったあと中味をこそぎ出すのに使ったという。たぶん絶滅した民具で、私もまだ実物を見たことがない。少々脱線したが、まさに「おせっかい」というものだろう。そんな語源説もある。

### そもそも「ハコ」とは？

「箱膳」はともかく、「お膳」の類は、

そもそも「ハコ」といえるのかと、さっそく考えさせられた。四角い板の周囲に低い縁が立ち上がる形は「ハコ」と言えないことはない。しかし、どちらかといえば「盆」などと共に「イタ」に近い。いわば「ハコ」と「イタ」の境界領域にある形態だろう。このあとの展示に登場する「帽子のハコ」も「ツツ状（円筒形）」でも「ハコ」と呼ばれる場合がある。器の場合でもたとえば「皿と鉢」の違いを考えると、その中間に「浅い鉢」と「深い皿」がある。そもそも「ハコ」とは何なのかという根本的な問題が浮かびあがる。それこそ、この展覧会のねらいところかもしれない。この文章でも、あとで詳しくふれたい。

次の「②ハコに入れる」は、「しまい込むほどでなく、いったんどこかへ置いておきたいものを「ハコ」の中に一時的に移動させておくこと」と解説にある。つまり、中に入れられたものは、いずれ取り出される。本来の収納場所ではなく「仮置き」の場なのだ。具体的には、牛乳入れ・蠅帳・投票箱、そして銭箱や金庫が並ぶのが面白い。ひとつあとの「④ハコに仕舞う」の分類が、いわゆる「収納」という「ハコ」の基本的な機能を示すが、その前に「仮置き」のハコを分類したところがユニークだ。どんなに嚴重な「金庫」にいれても札束や権利書などは、いずれどこかに消える運命を持つ「紙切れ」なのだと思わされる。

「⑥ハコに詰める」「⑦ハコで売り出す」の項目も面白い。私にはなつかしい馴染みの品々が並んでいた。収納の効率も意識されつつ、パッケージとしてのデザインが力を発揮する分野で、主に「ハコ」の外側表面が象徴的に働く。ちなみに、あらゆる基本的形態で、個体ごとの形態のデザインや表面の意匠が象徴的に働く一面がある。

「③ハコを使う」という分類にすすむと、箱枕や押寿司の型、豆腐箱などが並ぶ。このコーナーはいわば「仕事をするハコ」だとすると、そのあり方はもともと多様になるだろう。後に登場する「⑨ハコをさまざまに使う」の「箱階段」や、最初の「箱膳」などは「モノをのせる」「ヒトがのる」という「支持機能」をもつ仲間だ。そして「豆腐箱」や「押寿司の型」は、「中に入れたモノ」を変形・加工する機能。つまり外から力を加えて中味を絞ったり、固めたり、あるいは加熱したり冷やしたりして中味の状態を変える働きをする別のジャンルのハコになる。さらに、轆（ふいご）や唐箕など「風を起すハコ」も「仕事をするハコ」に含めて考えられる。さらに飛躍するが、ゼンマイやモーターなどの動力や歯車などの伝動装置などを内蔵した機械類の多くは、まさに中味の見えない「ブラックボックス」で、これらのハコが現代の生活にはあふれている。



枡5点、豆腐箱、蒸籠など、後方ケース内に箱膳が並ぶ



箱階段

使い方と基本形態の組合せで

次の「⑤ハコで運ぶ」も基本的な「ハコ」の機能だ。

いわゆる運搬具の展覧会は各地で行われ、私も学芸員時代の一九七〇年代に「はこぶ展」を企画して、静岡県東部地方の民具を紹介したことがある。そのときは「背に負う・肩で担う・手に提げる・頭にのせる・車で転がす・滑らす・水に浮かべる」などの運び方によって分類したが、地域の民具をどうしたら全国的に位置づけることができるかと考えて悩んだものだった。たとえば「背負梯子」などと呼ばれる「背に負う」形式の運搬具だけでも、全国に存在し、形態のバリエーションも多い。そのうえ呼称の方言が錯綜していて、比較することが簡単ではなかった。今の私なら、運搬具全体を、まず、身体の中の部位でどう運ぶか。つまり「背負う」のか「肩に担う」「手に提げる」などの身体技法をまず押さえる。「車で転がして押す・曳く」なども加えられる。これに対象をどんな形

態の道具で運ぶかをプラスして考えたかどうか。「基本形態」としては「棒・杵・箱・桶・籠・袋など」の「収納・支持具」があげられる。「背に負う」場合ならば、「背負う+箱」「背負う+杵（梯子）」「背負う+板」「背負う+籠」「背負う+袋」などと、動詞と道具の基本形態の組合せで表現すれば、形態と機能の関係が体系的に捉えられる。さらに細部にこだわれば、付属部品として、紐（ひも）・縄・帯などの身体と荷をつなげる「結節具」と、輪・クッションなど、荷と身体との間の「緩衝具」を加えることで、運搬具の「形態と機能」を構造的に理解できるだろう。このような捉え方は運搬具に限らず、人が作ってきたモノの形と働きとの関係を見分ける手法に展開できないか。

人工物は定義も分類も不可能？

「ハコ」とは何かを考えながら展示を見ていくと、「イタ」に近い「膳」や「盆」や、「ツツ」に近い「帽子のハコ」など、周辺部はあいまいで、厳密に「ハコ」を定義することが難しいことがわかる。

実は、人間が作り出したモノ（人工物）は、生物学の「種」のような厳密な概念で定義することも、分類することもできない（注1）。そのことを、「分類学」や「認知言語学」が明らかにしている（注2）。なぜなら、人工物の場合、異なる種類とされるモノが、自由自在に「交配」して新しいモノが生み出され、その境界線はあいまいなのが基本だからだ。あらゆる人工物の概念（種類）は、一般にその「典型」で捉えられていて、隣接する分野との境界は、グラデーション

のように変化し、あるいは鎖が連らなるように、いくつもの分野が重なり合う「家族的類縁性」が、基本的なあり方だとされる（注3）。

「ハコ」の周辺には、「板」「筒」「袋」「籠」「曲物」「桶」「櫃」「靴」「ケース」など多様なモノの概念が重なりあつて、「ハコとは何か」を厳密には定義できないので、その「典型」を示して置くのが得策ということになる。

であれば「ハコ」の典型は「硬くて平らな素材で構成された器」というぐらいで示したらどうか。そして「器」は「ハコ」の上位概念で、その典型は「硬い素材でできた、中に何かを入れられるもの」といえるか。さらにこの「ハコ」の基本形態に加えて、「蓋や扉」「柄や取っ手」「引出し」「注口や穴」などの部材、部分形態を組み合わせれば、さまざまな「ハコ」の種類が示せる。博物館資料からは、世代を超え、時代や地域で共有された一定の「型」をもつ「ハコ」が、いろいろな分野や地域から抽出されるだろう。

このような方法で「ハコ」だけでなく、コレクション全体を基本形態の組合せで見直し、基本的機能が重なるところで仕分ければ、分野ごとに異なる分類基準や、交錯する呼称に迷わされることなく、類似資料を比較したり、検索したりすることが可能になるのではないか。その結果として、私たちが身の回りのものをいかに認識しているかを明らかにする手がかりも得られるのではないか。

「ハコ展」紹介の途中から、だいぶ逸脱したように思われるだろうが、この地味な展示が、実は最先端の形態認識の手

法を示唆してくれていると私には思えてならなかった。

「民具」は渋沢の造語

ところで「民具」というと、一般には「古道具」とか、ちょっと昔の暮らしの道具類のことで、身の廻りのどこにでもあったが、今では用がなくなり見捨てられている「ガラクタ」といったイメージでとらえられていないか。しかし「民具」という言葉は、比較的新しい学術用語として生まれたことは案外知られていない。資本主義の父といわれる渋沢栄一の孫で、直接の後継者となって日銀総裁や大蔵大臣も務めた渋沢敬三という人物が、若いころに仲間とはじめた「アチック・ミュージアム（屋根裏博物館）」の活動のなかで提唱された造語だった。

昭和初期に柳田國男が「民俗」を、柳宗悦が「民藝」を提唱したのとはほぼ同じころ、渋沢は「民具」を「われわれ同胞が、日常生活の必要から技術的に作り出した身近卑近の道具」と定義して、仲間たちとともに、近代化のなかで急速に失われつつあった伝統的な暮らしの用具を収集し、その調査研究を仲間たちと積極的に行ったのである。そのうえで私は民具を「世代を超えて、地域で共有されてきた暮らしの造形物」と考える。そこに、いわば暮らしの「知恵と技」、蓄積された無形の知識や芸能や技術が具象化されており、つまり「有形民俗文化財」が「民具」に相当すると考えている。渋沢らによるアチックのコレクションは、その後、大阪の国立民族学博物館（民博）の母胎になった。そこには、生産用具や器物などのほか、祭りや芸能の



寄稿

# 次代に繋ぐ「行山流佐沼鹿踊」

(ぎよござんりゅうさぬまししおどり)

宮城県登米市

佐沼鹿踊伝承会

会長 大場 勤市

(令和四年度助成先)

## ◇城主に奉納した郷土芸能

大正十二年発行の「登米郡史(上巻)」によると佐沼の鹿踊は、江戸時代初期には、佐沼(現在の登米市迫町佐沼)と南方(登米市南方町)で一組、北方(登米市迫町北方)の日向と北浦(一組、新田(登米市迫町新田)に一組、藤沢(栗原市瀬峰)に一組、併せて四組の踊り組があり、毎年二組ずつ交互に、佐沼城(別名・鹿ヶ城)に踊りを奉納する習わしとなっていました。装束の幕には、伊達家家臣・津田家(宿老)の紋所の開き扇と鱗、巨理家(一家)の紋所の九曜星があったことから、邑主に許された踊りであったと推測されます。



【佐沼城跡「旧巨理邸」前での演舞】

登米市内では佐沼鹿踊の存在を示す多くの遺物が発見されています。北方・泥内地区の鹿踊り

## ◇復興の経緯、そして現在

佐沼鹿踊は社会情勢の変化や後継者不足などにより、昭和初期には姿を消し、長らく幻の郷土芸能となっていました。この間、幾度となく先人たちの再興への試みがあったものの、実現には至りませんでした。平成七年、財団法人登米文化振興財団(市内唯一の文化会館「登米祝祭劇場」の管理運営を担う法人。現在は公益財団法人)があらためて調査に着手。翌年には、同じ流れをくむと思われる行山流の水戸邊鹿子躍(みとべししおどり)保存会(本吉郡南三陸町)の指導を受けて、復興への第一歩を踏み出しました。



【三人舞】での雄鹿の決闘場面

その時指導を受けたメンバーで「佐沼鹿踊伝承会」を設立。会員の募集ながら、踊り演目の習得のため稽古を重ねました。一方、太鼓や装束類の購入資金を調達するため、市民有志が活動をスタートさせ、復興への機運

が高まりをみせてきました。平成十年、市民からの浄財等により太鼓や染物類一式が完成。最後の縫製作業は、迫町北方地区の婦人会の皆様に協力をいただきました。そして七月二十日、演目のひとつ「三人舞」を市民の前で披露することができました。現在の伝承会員は二一人。週一回の練習を重ねながら、佐沼夏祭りなど各種行事で披露しています。

「佐沼夏祭り」は旧暦六月に実施されていたことから、古くは「六月祭り」と呼ばれ、この地方に受け継がれている歴史ある祭りにです。伝承会は、佐沼城に踊りを奉納したという往時を偲び、毎年参加して、佐沼城跡の旧巨理邸の敷地などで披露しています。



【佐沼夏祭り】で神社に奉納

平成十六年に迫町の、市町村合併後は登米市の無形民俗文化財に指定されています。

## ◇装束類と八つの踊り演目

佐沼鹿踊は、頭に鹿角のついた鹿頭をかぶり、腹に太鼓、背にササラという長い竹を背負い、太鼓を叩きながら、念仏調の歌を歌い、激しく舞うという、一人三役の勇壮な太鼓系の芸能です。踊り演目は八つあります。

- 一、三人舞
  - 二、二人舞
  - 三、かかし踊り
  - 四、鹿島踊り
  - 五、土佐踊り
  - 六、海の門中(うみのとなか)
  - 七、女鹿隠し(めじしかくし)
  - 八、墓踊り
- それぞれの踊りには物語があります。そのうちのひとつ、「三人舞」についてご紹介します。「三人舞」についてご紹介します。「一人前に成長した若い雄鹿が、雌鹿を求めて深い山に入って行きます。すると、同じ思いの雄鹿二頭もやってきて、たちまち決闘となります。最後には三頭とも、それぞれに雌鹿を得て大願成就するという、たいへんめでたい踊りです。
- へ春駒は 庭の桜に つながれて  
胸が勇めば 花が散りそろ  
へ会津中山 越しかねて  
つまをそろえて 勇む駒かや  
などの歌とともに、若い鹿の躍動感あふれる踊りが展開されます。



【みちのく鹿踊大会(宮城県栗原市)に参加】

## ◇後継者育成で次代に繋ぐ

この歴史ある郷土芸能を後世に伝えていくためには、後継者の育成が欠かせません。私たち

は地域の皆様の協力をいただきながら、育成事業に積極的に取り組んでいます。そのうち、登米市青年会、登米市立新田小学校での取り組みをご紹介します。登米市青年会では、青年文化祭で披露する郷土芸能に「佐沼鹿踊」を選び、稽古に励んでいます。市町村合併以前の迫町青年会の時代からの付き合いで、伝承会では全面的に協力し、青年会員をサポートしています。これが機縁となり、伝承会に入会した会員もいます。踊り先生の顕彰碑が発見された新田地区では、新田小学校が毎年、秋の運動会で佐沼鹿踊を披露しています。同校への指導は平成十一年から開始し、現在では子どもたちの踊り組も結成されています。大人組と子ども組が合同で練習する機会も設けています。



【新田地区での郷土芸能体験会にて】

寄稿

「時代を超えて・時代をつなぐ」  
米倉人形三番叟

山梨県笛吹市八代町  
米倉人形芝居保存会

会長 水野 守  
(令和四年度助成先)

◇はじめに

山梨県笛吹市は、県の中央部に位置し「桃・ぶどう日本一の郷」を誇る農業と、縄文や古墳時代の遺跡をはじめ、長く古墳甲斐国(山梨県)の中心であったことなど、歴史文化の薫り高い地域です。

当保存会のある八代町米倉区は、古くからの集落とその周辺には果樹園などの農村景観が広がります。また、当地に関する古の伝説や丘陵地には古墳時代の遺跡が所在するなど、緑豊かで古代ロマンあふれる所です。



[千歳の舞]

◇人形芝居と三番叟の歴史

米倉の人形芝居と三番叟は、

江戸中期に発祥し、名主の保護奨励を受けて村の若衆によって一月と六月の年二回地域の神社境内で奉納され、伝承されたと伝えられています。

しかし、次第に衰退し、人形芝居は明治十七年(一八八四)、三番叟は明治四十二年(一九〇九)頃まで行われ途絶えてしまいました。

当時の三番叟の人形三体と人形芝居の頭四体等は、長年地域の民家に保管され、後に旧町の有形文化財として指定されました。



[翁の舞]

◇八〇年ぶりの復活

約八〇年の間途絶えていた人形三番叟復活に向けた活動は、昭和六十三年(一九八八)頃から米倉区(自治会)役員が中心となって始まり、区民の世論を醸成しながら「人形芝居式三番叟等復活推進委員会」を構成し、

取り組みが進められました。また、行政からの力強い後押しを受ける中で、実演用の三体の人形や楽器、舞台、衣装等が調えられ、人形三番叟復活が具体的なものになりました。

一方、区内から人形の操作・音曲演奏希望者を募り「人形芝居保存会」を設立、県内外の類似の人形芝居や人形三番叟を研修し、米倉なりの演出と稽古を重ね、平成二年(一九九〇)、八〇年ぶりの復活公演を実施することができました。

◇米倉人形三番叟の概要

米倉人形三番叟の舞台は、「能」舞台形式で背面に鏡板、音曲方は囃子座に据え、人形は文楽人形同様「主遣い(頭と右手)」「左遣い」「足遣い」の三人遣いとし、「千歳」「翁」の三番の三体の人形それぞれを黒子姿で操作します。

人形三番叟は、謡(うたい)と音曲方「太鼓・小鼓・大鼓(おおかわ)・笛」の曲にあわせて、「千歳」は長寿を、「翁」は天下泰平を、「三番」は五穀豊穡を祝い、願って舞うものです。



[謡と音曲方]

◇復活後の状況

復活以降、毎年十一月三日の神社例大祭にあわせて人形三番叟を上演しています。この復活をきっかけとして、会場では子ども神輿や模擬店・バザーの出店、地域の歴史を子供たちに紹介する紙芝居なども行われるようになり、米倉地域の祭りとして定着しています。



[三番と千歳の掛合い]

◇復活三〇周年を迎えて

令和元年(二〇一九)には、復活三〇周年を迎えたことを期に、米倉人形三番叟の記録としての保存伝承と、広くこの継承活動を知っていただくことを目的として、当会員自ら編集作業を行い、令和三年二月「復活三〇周年記念誌」を発刊しました。

高齢化と後継者の確保が大きな課題となっています。

◇「時代を超えて」これからの展望

江戸・明治期から八〇年の「時代を超えて」平成に復活して三〇余年、時は令和。復活からこれまで米倉人形三番叟として一つの時代、歴史を築いてきました。

これからは、今回の助成金によって修復が叶った江戸時代から伝わる三体の三番叟人形や四四体の頭を米倉人形三番叟の原点、シンボルとして、この伝承活動をPRし、多くの方々に関心を寄せていただきたいと思います。

そして、併せて後継者の確保・育成にも努め、更に次代へと継承していく、「時代をつなぐ」ための取り組みを進めたいと考えています。



[江戸時代から伝わる三番叟人形と人形芝居の頭]

寄稿

# 江上神社の風流について

福岡県柳川市

江上神社風流保存会

会長 堤 一則

(令和四年度助成先)

## ◇ 獵町古川地区について

獵町古川地区は、柳川市の南部に位置し水稲、大豆、小麦の生産が盛んな静かな農村地帯です。慶長七年に田中吉政公が築いたとされる慶長本土居(ほんどい)によってできた干拓地です。戦後は、い草が盛んに生産され、豊表の生産が盛んに行われていましたが、今はほとんどなくなっています。

この地方には汐留工事の跡などに海童神社が数多く見られます。江上神社も海童神社で、ご神殿に祀られたご神体の台座には延享元年と書かれています。今から二七八年前です。神社を中心に集落の人々が協力し合って暮らしてきたと思われれます。

## ◇ 江上神社風流について

柳川地方には数多くの風流が伝わっています。古文書によると、今から五〇〇年以上前に、夏の日照りで雨が降らないので、太鼓と鉦を鳴らして雨ごいをしたところ、雨が降ったという逸話があるそうです。また慶長七年、田中吉政公が三日間で堤防を築いたという記述がありますが、その際汐留工事は何回も失敗したため、住民が太鼓と鉦を打ち鳴らして工事現場の人々を鼓舞したため、無事工事が完成したと

いわれています。

江上神社の風流はいつから始まったかは定かではありませんが、太鼓の皮を張り替えた際に太鼓の胴に書かれたものが見つかりました。「一番古い記述は天明五年(二七八五)」と書いてありました。

柳川歴史資料集第六集には、「八月二十三日江上神社秋祭りがある。前日にのぼりを立て青年団がドンキャンキャンをして各家庭を回っていた。ニンジュメ太鼓などがあつた。その日は親戚が集まり魚、野菜、赤飯を食べた。」とあります。

三三年間途絶えていた風流を平成二十三年に復活させました。平成二十四年には鉦、シャグマ、袴、翌二十五年には太鼓の張替えを行いました。昔は太鼓の上にその年に嫁いできた花嫁の帯を巻いて飾り御幣をたてていました。

祭り当日は、まず江上神社で奉納しそれから各家庭を回りま



[江上神社境内で舞を奉納する様子]



[集落内の各家庭を練り歩く]



す。三人一組の舞手は小学生が務めます。頭にはシャグマと呼ばれる麻を赤く染めた被り物を被り、袴、白足袋、草履、腕には手甲をつけて、背中には五色の帯を下げて、大人たちの鳴らす鉦に合わせて太鼓を打ちながら交代で舞います。

舞は四曲あります。赤と青の般若の面をつけた鬼がそれに合わせて舞います。道中は、道楽を鳴らしながら風流が近づくのを知らせます。また風流の舞には次のような舞謡があります。

## ◇ 現在の継承活動

ドンキャンキャンの太鼓打ちは今までは男子のみでしたが、児童の減少から今は女子の希望者も募集するようになりました。

稽古は、八月下旬から祭りの前日まで、夜七時から八時半まで公民館で行います。



[子供たちの練習の様子]



大人は鉦の稽古を行います。子供にはまず太鼓の打ち方を大人の鉦に合わせて行います。打ち方を覚えたら舞いながらの太鼓の打ち方へと進みます。

三年、四年生はまず二曲、五年、六年になると次の二曲を習得します。

## ◇ コロナ禍で

復活して一〇年目になりようやく軌道に乗り始めた二年前、新型コロナウイルスの流行により小学生の参加が難しくなり、この二年間は子供抜きになりました。

今年には元に戻したいと計画を練ってまいりました。学校との打ち合わせを済ませて募集を行おうとしていた矢先に第七波が来てしまいました。今年も残念ながら子供抜きになりました。

今の六年生は三年前に二曲を覚えたばかりですので、せっかく復活した地域の伝統文化をまた途絶えさせてはならないとの思いから、保存会一丸となって来年以降につながるよう頑張りたいと思います。

世代を超えた地域社会の繋がりを絶やさないために。



[保存会集合写真]

寄稿

ふるさとの心織り込む作州絣

岡山県津山市西今町  
作州絣保存会

会長 日名川 茂美  
(令和四年度助成先)

◇起源

作州絣は、藍と白の織りなすシンプルな模様が特徴で、城下町津山を中心に古くから伝承されてきた木綿絣織物です。年代は定かではありませんが、岡山県久米郡倭文村(現・津山市桑上・桑下)、錦織(現・久米郡美咲町)、苫田郡加茂町桑原(現・津山市加茂町桑原)津山市綾部を中心とする一帯は、その地名から推察できるように、古くから一大織物産地で、高級絹織物が織られていました。



【作州絣 (保存会員の作品)】

江戸時代の初め頃、出雲から綿の栽培と共に綿織物の技術が持ち込まれ、庶民の着物として、紺木綿や縞木綿が織られるようになり、さらには、明治の中頃に、鳥取県の倉吉から倉吉絣の特徴である緯絣(絵絣)の技法が伝えられたことを機に、自家用として絣織物が盛んになりました。

交通の変遷に伴い、作州地方にも他地方から種々の衣料や布が入ってくるようになると、自家用の必要がなくなり、僅かに技術を伝える程度で、織物は次第に廃れていきます。

◇繁栄と衰退

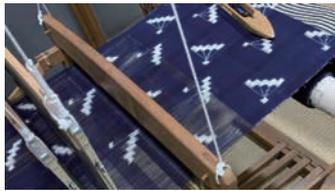
戦後、津山市の産業振興の振興品目として、以前盛んに作られていた絣が注目され、昭和二十八年(一九五三)から、岡山県工業試験場美作分場、津山市、商工会議所、津山繊維協同組合等の協力のもとで絣織物の研究が本格的に進み、わずかに残っていた技術を復元して、量産体制を整え、「作州絣」として市販に乗り出すことになりました。昭和三十一年(一九五六)には、分場作品を東京市場に出荷したところ、予想外の好評をもって迎えられ、これをきっかけに活況を呈するようになりしました。



【大一織物・杉原博氏】

作州絣の最盛期は昭和三十年から三十三年頃で、織元は一二軒、手織り・動力物を合わせて年間三〇五万反が生産されていたが、次第に、久留米絣、備後

伊予絣等の他の産地との競争が激しくなると、織元の転業で生産数量も減り、昭和三十七年(一九六二)には、官民での絣研究に当初から関わっていた杉原博氏経営の「大一織物」一軒となってしまう。昭和五十六年(一九八一)、同氏制作の手織作州絣は、岡山県郷土伝統的工芸品に指定されるも、杉原氏が平成九年(一九九七)に、妻氏が平成十三年(二〇〇一)に他界すると、作州絣の生産は途絶えてしまいました。



【伝統図柄の「扇」を復刻】

◇作州絣復活への道

平成十五年(二〇〇三)、杉原夫妻の親族から、洗張・染物業を営む日名川家に、残された反物の販売が託されました。私は以前から作州絣を愛用していたものの、その歴史や技法に関する知識がなかったため、販売受託をきっかけに、作州絣に関する資料を収集し、絣織物の産地を巡っては、勉強を重ねました。お客様に興味を持ってくださったお言葉に説明するにも、知識だけでは作州絣の魅力を十分に伝えきれず、もどかしさを感じた私は、自分自身で絣を織ることが一番大切だと考え、平成十九年(二〇〇七)、鳥取短期大学絣研究室に入学することを決意しました。雪深い冬の県境の山越えにも負けず、四年間、鳥取に通い、鳥取県伝統工芸

士・吉田公之介氏の指導を受けて、絣織物の技法を学びました。同研究室を卒業した私は自宅に工房を構え、残された作州絣の販売と共に、制作活動を始めました。しかし、自分だけが作州絣を織っても、いずれまた途絶える日が来てしまう、後継者の育成と技術の伝承が急務であると思い至り、平成二十四年(二〇二〇)五月、恩師の吉田公之介氏を講師として招聘し、津山市内で「作州絣織り人講座」を開講します。

◇作州絣保存会の伝承活動

同年七月、杉原家親族の方々から、大一織物の後継者である「作州絣製造者」として認めていただいた私は、作州絣の保存と伝承活動を行う「作州絣保存会」を発足させ、織り人講座での後継者育成の他、平成二十六年(二〇一四)三月には、作州絣保存会の拠点となる作州絣工芸館をオープンし、保存会員と力を合わせて各種体験や実演、学校や地域行事でのワークショップ、講演、デパート等への出展など、様々な活動を通して作州絣の発信を続けました。今では、津山市や観光協会のイベント、旅行会社の体験ツアー、学校の課外授業などの様々な依頼の他、オリジナル商品制作の注文もいただけるなど、徐々に認知されるようになって



【機織り体験(作州絣工芸館にて)】

てきたと実感しています。また、「作州絣織り人講座」で所定の課程を修了した受講者の中には、綿から絣織物ができるまでの一連の工程や作州絣の歴史等の基本的な技術・知識のみならず、正確な柄合わせが求められる経緯絣の高度な技術を身につけた織り人も育ってきたことから、次のステップとして、令和三年(二〇二一)二月、作州絣に関する専門技術、知識を有する等の一定の要件を満たす者を「作州絣製造者」として認定する制度を創設し、新たに七名を製造者として認定しました。



【作州絣製造者認定式の記念撮影】

◇未来へ

「作州絣織り人講座」は開講から今年で一年目となります。この間で四五人の受講があり、今年度も新たな受講生を迎え、現在一五人が絣織物の技術を修得するため勉強に励んでいます。デジタル化の時代に伝統的工芸品の技術を伝承していくことは容易ではありません。作州絣も類にもれず多くの課題があります。それでも、志を同じくする仲間達と一歩ずつ前に進んでいきたいと思っております。津山地域のあちらこちらで、トントントン・・・と機織りの音が戻ってくる日に思いを馳せ、今日もまた機に向かいます。

平成3年～令和4年 都道府県別伝統文化助成先一覧(1) \*印は民俗技術

助成先		助成先		助成先	
長野県	日吉お鍛様祭り保存会	長崎県	鷹島町島踊保存会	<b>平成3年度助成(29)</b>	
岐阜県	白鳥拝殿踊り保存会		荻田浮立保存会	北海道	石崎奴保存会
三重県	大淀祇園祭保存会	大分県	武多都神楽保存会	青森県	厚岸かぐら保存会
大阪府	貝塚東三吉馬保存会	宮崎県	潮嶽神楽保存会		紙漉沢獅子踊保存会
兵庫県	青田神楽保存会		靱木白太鼓保存会		七戸町郷土芸能保存会
奈良県	誠語会	鹿児島県	硫黄島八朔太鼓踊り	岩手県	白浜剣舞保存会
和歌山	真国御田保存クラブ	<b>平成5年度助成(35)</b>		宮城県	とよま山車まつり保存会
鳥取県	アトリエ・グリヌ*	北海道	ヤイニューカラの森*	山形県	今利一郎氏(深山和紙製造)*
島根県	赤塚神楽佐儀利保存会		新十津川町獅子神楽保存会	群馬県	岩島麻保存会*
広島県	江の川水系漁撈文化研究会*	青森県	新山権現保存会	東京都	説経節の会
	名荷神楽団	岩手県	上郷伝統工芸研究会*		秋川歌舞伎保存会
山口県	徳地人形浄瑠璃保存会		赤澤芸能保存会	新潟県	神谷地域ビデオ収録委員会
徳島県	猿坂獅子組保存会	宮城県	宮崎獅子舞保存会	福井県	越前万歳保存会
愛媛県	八幡丸運営委員会	秋田県	中野七夕保存会	長野県	木曾漆器保存調査会*
高知県	宮谷堂の口あけまつり保存会	山形県	堀内伝承文化保存会	岐阜県	大井文楽保存会
福岡県	四三嶋獅子廻し実行委員会	栃木県	山岡和三郎氏(日光下駄)*	三重県	東玉垣唐人踊り保存会
長崎県	館浦須古踊り保存会	群馬県	大神楽獅子舞保存会	奈良県	石打太鼓踊保存会
	大島村盆踊振興会	埼玉県	明覚郷流鏝馬保存会	和歌山	大島水門祭保存会
熊本県	中江若戸神楽保存会子供神楽部会	千葉県	野田津久舞保存会	島根県	西本里美氏(西田葛の復興)*
大分県	重岡若戸神楽保存会	神奈川県	大谷芸能保存会		島後久見神楽保持者会
宮崎県	村所神楽保存会	石川県	能登の揚浜式製塩保存会*	広島県	比和町郷土芸能振興会
	佐々木寛治郎氏(手漉き和紙)*	福井県	花山行事保存会		金城一國斎後継者池田昭人氏*
鹿児島	蓬原熊野神社神舞保存会	岐阜県	加子母歌舞伎保存会		西原上十二神祇神楽保存会
沖縄県	伊江村民俗芸能保存会	愛知県	甚目寺説教源氏節人形芝居「もくもく座」	徳島県	中村園太夫座(岡花座)
<b>平成7年度助成(43)</b>		三重県	東玉垣唐人踊り保存会	福岡県	加布里山笠保存会
北海道	月浦獅子舞保存会		二木島祭保存会		新多神相撲保存会
	釧路アイヌ民芸企業組合*	滋賀県	吉身祭礼保存会	長崎県	大村龍踊り保存会
青森県	沼崎念仏鶏舞保存会	兵庫県	福田お幡入れ法伝哉伝承保存会	大分県	木牟田子供神楽保存会
岩手県	小梨芸能保存会	和歌山	土生八幡神社「お頭保存会」	宮崎県	諸塚神楽保存会
秋田県	戸沢ささら保存振興会	島根県	西田葛生産組合*		大人歌舞伎保存会
	鷹巣町郷子太鼓上町保存会		中野神楽保存会	<b>平成4年度助成(34)</b>	
山形県	遊佐のアマハグ保存会	広島県	八千代神楽団	北海道	安浦駒踊り保存会
	峠ノ山八幡神社弓祭協賛会	山口県	鷺の舞保存会		長沼町勇獅子舞保存会
福島県	葛尾村公民館	徳島県	森藤獅子舞保存会	岩手県	妹背牛町獅子舞保存会
栃木県	大沢田太々神楽保存会	香川県	中山農村歌舞伎保存会		上郷伝統工芸研究会*
千葉県	佐原囃子保存会	高知県	佐喜浜八幡宮古式行事保存会		伊藤流行山鹿踊保存会
新潟県	片野尾歌舞伎保存会	福岡県	内野地区老松神社獅子舞保存会		鷹生郷土芸能保存会
富山県	八尾町曳山保存会	長崎県	坂本浮立保存会	宮城県	金津七夕祭保存会
福井県	糸崎寺仏舞保存会	熊本県	上井出神社奉納楽保存会	秋田県	大葛金山民俗芸能保存会
	福谷区大火勢保存会	大分県	大行事八幡宮(カッパ)踊保存会)		前山郷土芸能保存会
山梨県	藤木道祖神祭保存会	宮崎県	村所神楽保存会	山形県	押切神楽保存会
長野県	信級中原流太々神楽囃子保存会	鹿児島	東郷文弥節人形浄瑠璃保存会	神奈川	民具製作技術保存会*
岐阜県	高雄歌舞伎保存会	<b>平成6年度助成(40)</b>		山梨県	下部温泉神楽保存会
三重県	深野和紙保存会*	北海道	蘭越町根曲がり竹細工研究会*	岐阜県	岐南町伏屋獅子舞保存会
滋賀県	岩熊区雅楽保存会		鬼鹿松前神楽保存会	三重県	東玉垣唐人踊り保存会
大阪府	能勢町人形浄瑠璃実行委員会	青森県	鮫神楽保存会		一色町能楽保存会
	堺式手織織通技術保存協会*	岩手県	上郷伝統工芸研究会*		三日市ワナイ保存会
兵庫県	熊野神社裸祭り保存会		石橋鑑剣舞保存会	兵庫県	淡河八幡播州音頭・踊り保存会
鳥取県	新田人形浄瑠璃芝居相生文楽		夏井大梵天神楽保存会		池尻神社人形狂言保存会
島根県	鹿子原の虫送り踊り保存会	宮城県	塩入神楽保存会	奈良県	龍口獅子舞保存会
	出雲民芸紙工房*	秋田県	尾去沢からめ節保存会	鳥取県	日南神楽 神光社
岡山県	壬生農村歌舞伎保存会	山形県	北條郷総鎮守獅子冠事務所	島根県	西本里美氏(西田葛の復興)*
広島県	常定神楽継承団体「戸山会」	茨城県	柿岡からくり人形保存会		隠岐いぐり風保存会*
山口県	別府若戸神楽舞保存会	東京都	西川古柳座	広島県	備後かすり学習会*
徳島県	犬飼農村舞台保存会	富山県	五ヶ種ファンガレ踊り保存会		羽佐竹神楽団後援会
香川県	家の浦二頭獅子舞保存会	石川県	柏野じょんがら保存会	山口県	鷺の舞保存会
愛媛県	三浦西安米自治会子供武者行列「大江山」保存会		能登の揚浜式製塩保存会*	高知県	船戸花取踊り保存会
高知県	野市町立山神社棒術獅子舞保存会	福井県	だのせ祭り保存会	福岡県	大分の獅子保存会
福岡県	平八月祭り保存会	山梨県	美和神社太々神楽保存会	佐賀県	今寺面浮立保存会

平成3年～令和4年 都道府県別伝統文化助成先一覧(2) \*印は民俗技術

助成先		助成先		助成先	
		平成9年度助成(47)		平成7年度助成(続き)	
群馬県	大宮神社獅子舞保存会	北海道	雷公神社神楽会	佐賀県	七浦西塩屋面浮立保存会
神奈川県	海南神社面神楽保存神楽師会	青森県	田子神楽保存会		武雄流鏝馬実行委員会
新潟県	湯川五社神社伶人会	岩手県	行山流都鳥鹿踊保存会	長崎県	中尾獅子浮立と唐子踊保存会
石川県	木津豊漁太鼓保存会	宮城県	嵯峨立神楽保存会	熊本県	久連子古代踊り保存会
福井県	若狭町三宅六斎念仏保存会	秋田県	森岳歌舞伎保存会	大分県	丸山俚楽保存会
	今庄羽根曾踊保存会	山形県	小田島田植踊保存会	宮崎県	今西三段打分太鼓踊保存会
長野県	内山柱松保存会	福島県	北部先囃子若龍会	鹿児島	入来麓疱瘡踊保存会
岐阜県	若松友志会	栃木県	芦沼獅子舞保存会		佐仁八月踊り保存会
三重県	栗谷念仏踊り保存会	群馬県	沼須人形芝居保存会(あけぼの座)		中村悦子氏(芙蓉布復元)*
滋賀県	老杉神社頭屋行事保存会	千葉県	野田津久舞保存会	<b>平成8年度助成(43)</b>	
京都府	伊根町立石区	神奈川県	宮城野獅子舞保存会	北海道	留萌岩戸神楽保存会
	久多の山村生活用具保存会*	新潟県	警女唄ネットワーク		(財)アイヌ民族博物館*
大阪府	野間出野秋祭り保存会		越後弥彦手仕事倶楽部*	青森県	古懸獅子舞保存会
兵庫県	多可町播州歌舞伎クラブ	富山県	八尾町曳山保存会	岩手県	行山流都鳥鹿踊保存会
奈良県	祭文音頭保存会	石川県	小松市歌舞伎愛好会		平組はしご虎舞保存会
和歌山	木本八幡宮の御田祭保存会	福井県	和久里壬生狂言保存会	宮城県	武鎗鹿踊保存会
鳥取県	円通寺人形芝居保存会	長野県	仁科神明宮神楽保存会	秋田県	北秋田市綴子下町太鼓保存会
島根県	出雲大社神代神楽波積支部波積神楽団	岐阜県	新楽舎獅子舞保存会		鳥田目番楽保存会
	今田町内会	静岡県	島田帯祭保存会	山形県	山形町ふるさと資料館
岡山県	横野和紙工業協同組合*	愛知県	古出来町神社奉賛会お祭囃子保存会	福島県	上三坂のやっちき踊り保存会
広島県	比和町郷土芸能振興会	三重県	長太鯨船(天王丸)保存会	茨城県	あんば囃子保存会
徳島県	つるぎ町天の岩戸神楽保存会		なすび団扇継承保存会*	栃木県	宗円獅子舞保存会
香川県	香翠座デコ芝居保存会	滋賀県	深野和紙保存会*	群馬県	沼田祇園囃子保存会連合会
愛媛県	弓削雨乞踊保存会	京都府	綿向神社雅楽「楽人座」	千葉県	仁組獅子舞保存会
高知県	西畑人形芝居保存会	京都府	棚倉孫神社瑞饋御輿保存会	東京都	ふるさと資料館建設推進委員会*
福岡県	鐘崎盆踊り振興会	京都府	久多の山村生活用具保存会*	神奈川県	仙石原神楽保存会
佐賀県	東真手舞浮立保存会	大阪府	三夜連絡継承会	新潟県	赤玉文化財保存会
	嬉野町温泉区面浮立保存会	兵庫県	播州音頭踊保存連合会	富山県	八尾町曳山保存会
長崎県	黒丸踊保存会	奈良県	安堵町なもて踊り保存会		福野縞の会*
熊本県	目丸棒踊り保存会	和歌山	高芝の獅子舞保存会	福井県	加茂神社上宮の神事
	本町虫追い太鼓を考える会	鳥取県	福栄伝統芸能保存会	山梨県	大久保神楽保存会
大分県	国東神楽社	島根県	民谷神楽団		沢登六角堂切り保存会*
宮崎県	綾町宮原地区唐人踊り保存会	岡山県	大賀島大智明権隈保存会	長野県	成就神楽囃子保存会
鹿児島	伊崎田和紙保存会*	広島県	江波漣伝馬保存会		阿島傘の会*
	鹿児島市中山町下虚無僧踊保存会	徳島県	高川原勇獅子保存会	岐阜県	串原歌舞伎保存会
沖縄県	草戸原	香川県	東かがわ市白鳥虎頭舞保存会	愛知県	(財)平野町町政会
	前ハル原	高知県	土佐の暮らしの文化を守る会	三重県	一色町能楽保存会
<b>平成11年度助成(48)</b>		福岡県	松会保存会		深野和紙保存会*
北海道	蘭越町根曲がり竹細工研究会*	佐賀県	飯田面浮立保存会	大阪府	船待神社神楽子供獅子踊り保存会
	穂別町アイヌ民族文化保存会	長崎県	若宮稲荷神社 竹ん芸保存会	兵庫県	廣峯神社無形文化財保存協議会
青森県	靄神社法霊神楽保存会	熊本県	中窪田神楽保存会	奈良県	南都晃耀会
岩手県	山内神楽保存会	大分県	野々河内神楽保存会	鳥取県	馬佐良申し上げ祭り保存会
宮城県	城生野神楽会	宮崎県	高城町穂満坊あげ馬保存会	島根県	伝承ホーランエンヤ馬漣伝馬保存会
秋田県	大沢郷椒沢番楽保存会	鹿児島	徳重大太鼓踊り保存会	岡山県	川上町渡り拍子保存会
山形県	越沢自治会	沖縄県	平原利秋氏(ゴッパン民俗楽器製作)*	広島県	阿刀神楽保存会
福島県	海老根伝統手漣和紙保存会*		泡瀬京太郎保存会	山口県	陶腰輪踊保存会
	豊景神社太々神楽保存会		伊波貞子氏(メジャー・織物)*	愛媛県	お簾踊保存会
茨城県	日枝神社流鏝馬保存会	<b>平成10年度助成(47)</b>		高知県	遼・三番双保存会
栃木県	升塚獅子舞保存会	北海道	穂別町アイヌ民族文化保存会	福岡県	流鏝馬武徳会
群馬県	奥平神社獅子舞保存会	岩手県	白符荒馬踊保存会	佐賀県	蔵上御田舞保存会
埼玉県	深作ささら獅子舞保存会	丹内金津流鹿躍保存会		長崎県	鬼木鐘浮立保存会
東京都	江戸消防彩粋會	行山流湧水鹿踊保存会		熊本県	南阿蘇長野戸神楽保存会
新潟県	杉野沢民俗芸能保存会	山伏神楽保存会		大分県	天間地区公民館
富山県	福光ちゃんがれ保存会	秋田県	雄物川町岡本新内伝承会	宮崎県	広原神楽保存会
石川県	上井田獅子舞保存会	秋田県	五城目町民俗芸能保存連絡協議会	鹿児島	大の始式保存会
福井県	美浜町和田区		横岡サエの神保存会		柏原区芸能保存会
山梨県	中之倉神楽保存会	山形県	平田さしこの会*	沖縄県	武富旗頭復元実行委員会
長野県	日野多慶子氏(願法寺の絵解き)	群馬県	猿田彦神社大和神楽保存会		
三重県	曾原かんこ踊保存会				

平成3年～令和4年 都道府県別伝統文化助成先一覧(3) \*印は民俗技術

助成先		助成先		助成先	
佐賀県	西神野玄蕃一流浮立保存会	徳島県	坂州若連中	平成11年度助成(続き)	
長崎県	千代田中部小学校 高志狂言保存会	香川県	ひょうげ祭り保存会	滋賀県	油日神社奴振り太鼓踊り保存会
熊本県	大浦区舟グロー保存会	愛媛県	内子町伝統文化継承団体連合会	大阪府	吉志部神社どんじ保存会
	菜ノ花会*		川名津神楽保存会	兵庫県	大蔵谷獅子舞保存会
	相良吾平阿蘇神社伝統神楽保存会	高知県	一の宮万歳保存会	奈良県	吉野山青年団御田植神事保存会
	産島八幡宮海を渡る祭礼保存会	福岡県	吉木芸能保存会	和歌山	小川郷土芸能保存会
大分県	板井迫神楽保存会	佐賀県	立岩浮立保存会	鳥取県	芦津獅子舞保存会
宮崎県	虚無僧踊保存会		馬渡区鉦浮立保存会	島根県	玉若酢命神社御霊会風流保存会
鹿児島	塩田次郎氏(薩摩琵琶製作)*	長崎県	土井丸浮立保存会	広島県	幸崎町能地春祭保存会
沖縄県	津波古獅子蹴跳保存会*		大浦区舟グロー保存会	山口県	数方庭保存会
	那覇市首里汀良町獅子舞保存会	熊本県	嵯峨島オーモンデー保存会	徳島県	阿波木偶箱まわし保存会
	平成14年度助成(48)	大分県	福山神楽保存会	香川県	NPO法人農村歌舞伎祇園座保存会
北海道	篠路歌舞伎保存会	宮崎県	和間放生会祭典委員会	愛媛県	高知獅子保存会
青森県	入口青年会		北原人形芝居保存会	高知県	長命講伊勢踊
岩手県	彦部郷土芸能保存会	宮崎県	伊形花笠踊り保存会	福岡県	土佐歌舞伎伝承会
	板用肩怒剣舞保存会	鹿児島	塩田次郎氏(薩摩琵琶製作)*	佐賀県	今津人形芝居保存会(恵比須座)
宮城県	河南鹿嶋ばやし保存会	沖縄県	下小原八月踊保存会		嘉瀬之浦獅子浮立保存会
	君萱若松神社神楽会		大川青年会		森鉦浮立保存会
秋田県	東長野ささら保存会		謝名アヤチ獅子保存会	長崎県	西大村浮立保存会
山形県	南陽市古代織りの伝統を守る会*		平成13年度助成(50)	熊本県	樺木神楽保存会
福島県	白鳥神社太々神楽保存会	北海道	ペーパー福島踊り保存会		高沢組太鼓踊り保存会
茨城県	真家みたまおどり保存会	青森県	高館駒踊保存会	大分県	五馬玉来神社楽保存会
栃木県	上横倉の獅子舞保存会	岩手県	小袖漁撈唄保存会	宮崎県	尾八重神楽保存会
群馬県	千本木龍頭神舞保存会		湯屋神楽保存会	鹿児島	久留平氏(太鼓製作)*
埼玉県	沖内囃子保存会	宮城県	筆甫神楽保存会		津貫中間豊祭太鼓踊り保存会
千葉県	野田津久舞保存会	秋田県	八沢木獅子舞保存会	沖縄県	平出水太鼓踊り保存会
東京都	手作り絹研究会・多摩織部会*		福米沢送り盆保存会		津波古獅子蹴跳保存会*
神奈川県	相模里神楽垣澤社中	山形県	八ツ沼大名行列組合		保栄茂自治会
富山県	諏訪神社獅子舞保存会	福島県	両原早乙女踊り保存会	平成12年度助成(49)	
福井県	じじくれ祭保存会	茨城県	東金砂神社田楽舞保存会	北海道	掛瀬奴保存会
山梨県	下市之瀬の獅子舞保存会	栃木県	大沢田太々神楽保存会	青森県	目名神楽会
	表門神社神楽保存会	群馬県	上泉獅子舞保存会	岩手県	上郷し踊り保存会
長野県	木賊獅子保存会	神奈川	長安寺六字詰念仏講中		塚沢早池峰神楽保存会
岐阜県	有道しゃくし保存会*	新潟県	二田物部神社神楽舞保存会	宮城県	和渚法印神楽保存会
愛知県	伝承知多木綿つものき*	福井県	今庄羽根曾踊保存会	秋田県	秋田市太平山谷番楽保存会
	石上げ祭伝承保存会	長野県	湯原神社式三番保存会	山形県	沢渡獅子舞保存会
三重県	野口御神楽保存会		外倉獅子舞保存会	福島県	海老根伝統手漉和紙保存会*
滋賀県	上砥山田楽踊保存会	岐阜県	高桑太鼓保存会		八槻都々古別神社楽人会
兵庫県	南光子ども歌舞伎育成会	愛知県	金沢歌舞伎	茨城県	西金砂神社田楽舞保存会
奈良県	月ヶ瀬奈良晒保存会*	三重県	なすび団扇継承保存会*	群馬県	平出歌舞伎保存会
和歌山	藤白の獅子舞保存会		「てんでん」保存会	埼玉県	日進餅つき踊り保存会
島根県	南本通吉兆行事保存推進協議会	滋賀県	古高鼓踊り保存会	神奈川	NPO法人小田原鋳物研究所*
岡山県	白明会*	京都府	天満神社相撲保存会	新潟県	城腰花笠踊保存会
広島県	大朝飾り牛保存会	大阪府	樫井西青年団	富山県	岩瀬まだら保存会
山口県	徳佐はやしだ保存会	兵庫県	宗教法人 廣峯神社	山梨県	八朔祭下町屋台保存会
愛媛県	井原圭子氏(和紙用簀製作)*	奈良県	月ヶ瀬奈良晒保存会*	長野県	小菅神社氏子総代会
福岡県	水田天満宮稚児風流保存会	和歌山	熊野速玉大社祭事保存会	愛知県	大治太鼓保存会
佐賀県	戸ヶ里浮立保存会	鳥取県	江波三番叟保存会		能田徳若万歳保存会
	祖子分面浮立保存会	島根県	都神楽団	三重県	ゆうづる会*
長崎県	滑石竜踊保存会	岡山県	地域伝統工芸がませごの会*		大江羯鼓踊保存会
熊本県	菜ノ花会*		神根神社獅子舞保存会	滋賀県	下笠参弥礼踊り保存会
熊本県	九州相良古代踊り下免田保存会	広島県	磐門神楽団	兵庫県	さいれん坊主保存会
大分県	佐伯市宇目酒利獅子保存会	広島県	郷之崎神楽団	奈良県	月ヶ瀬奈良晒保存会*
	下旦祇園囃子保存会こども祇園囃子	山口県	山崎八幡宮 本山神事保存会	奈良県	田口水神社奉讃会
宮崎県	行藤町白太鼓踊り保存会	徳島県	大俣じょうれい 踊り保存会	鳥取県	竹田さいとりさし少年団
	六日町ヨイマカ保存会	愛媛県	河内口説保存会	島根県	追神頭打供盛団
鹿児島	塩田次郎氏(薩摩琵琶製作)*		野間獅子連中	広島県	養山八幡の吹囃子行事保存会
	鮫島健志氏(加世田の鍛冶)*	福岡県	うきは市石垣保存実行委員会*	山口県	柳井繕の会*
沖縄県	大浜青年会	佐賀県	佐賀錦振興協議会*		祝島神舞奉賛会

平成3年～令和4年 都道府県別伝統文化助成先一覧(4) \*印は民俗技術

助成先		助成先		助成先	
				平成14年度助成(続き)	
				沖縄県	今泊棒術保存会
				平成15年度助成(35)	
岩手県	生出神楽保存会	兵庫県	小五月祭(棹の歌)保存会	北海道	剣淵神楽保存会「剣龍会」
宮城県	大曲法印神楽保存会	鳥取県	賀露神社麒麟獅子舞保存会	青森県	大川原の火流し保存会
秋田県	大湯太鼓保存会	島根県	須佐神楽保存会	宮城県	山田大名行列組合
福島県	会津万歳安佐野保存会	広島県	小原大元神楽 小原神楽団	秋田県	潟船保存会*
茨城県	片野排禍ばやし保存会		南方の万灯保存会		根子番楽保存会
栃木県	興野ささら獅子舞保存会	香川県	肥土山農村歌舞伎保存会	山形県	吹浦田楽保存会
群馬県	泉沢町郷土芸能保存会	愛媛県	豊茂五ッ鹿踊り保存会	群馬県	行田獅子舞保存会
千葉県	万作踊り松戸保存会	高知県	西諸木花取踊り保存会	千葉県	パッパカ獅子舞保存会
東京都	美山町鯨獅子舞保存会	佐賀県	広瀬浮立保存会	神奈川	長谷ささら踊り盆唄保存会
神奈川	あつぎひがし座	長崎県	太田尾町自治会*	石川県	輪島市本町キリコ奉賛会
石川県	加賀万歳保存会		戸根浮立保存会	岐阜県	数河獅子保存会
福井県	舟寄踊保存会	熊本県	加勢川開発研究会合せ打保存会*	静岡県	富士宮囃子保存会
愛知県	きねこさ祭保存会		下里白太鼓踊り保存会	愛知県	住吉ちんとう祭委員会
滋賀県	椿神社流鏑馬保存会	大分県	荻神社俵楽	三重県	本郷「かんこ」踊り保存会
大阪府	大阪欄間工芸協同組合*	宮崎県	太郎坊ぶぶ踊り保存会	滋賀県	志那中サンヤレ踊り保存会
兵庫県	仁色長持保存会	鹿児島	入来神舞保存会	京都府	二箇上区
和歌山	糸我郷土伝統芸能保存会	沖縄県	新川青年会		阿良須神社練込保存会
鳥取県	美成地区	平成17年度助成(37)		兵庫県	魚吹八幡神社武神祭保存会
島根県	野石谷伝統芸能保存会	青森県	青森ねぶた正調囃子保存会	奈良県	尾山萬歳保存会
広島県	諸木郷土芸能保存会	岩手県	大ヶ生山伏神楽保存会	和歌山	椎出の鬼の舞保存会
徳島県	多田健二氏(阿波木偶人形制作)*	宮城県	喜多流大船渡	鳥取県	貴布禰神社麒麟獅子舞保存会
香川県	香翠座デコ芝居保存会	秋田県	新城の田植踊保存会	島根県	見々久神楽保持者会
福岡県	豊前感應楽保存会	山形県	蔵岡延年の舞保存会	広島県	枝の宮田楽団
佐賀県	西牟田区子供みこし・鉦浮立保存会	福島県	館早乙女踊保存会	徳島県	つるぎ町一字雨乞い踊り保存会
長崎県	平島ナーマイド一保存会		木目沢三匹獅子保存会	愛媛県	佐田岬裂織り保存会*
	ききつ船津ペーロン保存会	茨城県	日立郷土芸能保存会	高知県	客天弓祈禱保存会
熊本県	竹迫観音祭保存会下町分会	栃木県	三本木獅子舞保存会	福岡県	狩山豊年踊保存会
	栖本町郷土芸能保存会	埼玉県	辻の獅子舞保存会	佐賀県	求菩提山お田植祭保存会
大分県	保戸島伝統芸能保存会	千葉県	岩沼の獅子舞保存会	長崎県	仁比山神社大御田祭御田舞保存会
宮崎県	熊襲踊保存会		中野獅子保存会	熊本県	上戸石町自治会
	細野一区輪太鼓踊り保存会	東京都	幸田羯鼓舞保存会	大分県	西安寺神楽保存会
鹿児島	小島棒踊り保存会	神奈川	矢部八幡宮獅子舞保存会	宮崎県	大恩文化財愛護少年団
	中間棒踊り保存会	福井県	田村ばやし保存会	鹿児島	唐瀬子供神楽会
沖縄県	中城村字津覇伝統芸能保存会	山梨県	蔵生区自治会	沖縄県	田之浦山宮神社神楽保存会
平成19年度助成(39)		長野県	高尾山徳見神社神楽保存会		いしやなぎら青年会
北海道	寿都松前神楽保存会	愛知県	熊野神社祭囃子保存会	平成16年度助成(36)	
青森県	大平大神楽	三重県	桐原獅子舞保存会	青森県	片岸えんぶり組
岩手県	法領田獅子踊り保存会	滋賀県	牧野鳴念仏踊り保存会	岩手県	田束剣舞保存会
	羽山神楽保存会	兵庫県	白塚町通夜講	宮城県	廿一田植踊保存会
宮城県	浪板虎舞保存会	奈良県	渋川花踊り保存会	秋田県	黒川番楽保存会
秋田県	鳥海山日立舞横岡番楽保存会	和歌山	住吉神社水無月祭打込囃子保存会	山形県	羽黒山松例祭若者衆
山形県	幸生区・三地区契組	島根県	田原地区伝統芸能保存会	福島県	昭和村からむし織後継者
福島県	浮島神社太々神楽保存会	広島県	春駒保存会		→育成事業実行委員会*
	糠塚三匹獅子保存会	福岡県	矢上田植ばやし保存会	栃木県	尾ざく獅子舞保存会
栃木県	芦沼獅子舞保存会	佐賀県	羽佐竹神楽団後援会	群馬県	赤城町古典芸能保存会
	山本政史氏(日光下駄製作)*		八女市土橋八幡宮神幸行事保存会	千葉県	本納滝之谷獅子舞保存会
群馬県	貝沢西組獅子舞保存会	長崎県	川内浮立保存会	東京都	むさしのばやし保存会
埼玉県	下日出谷餅搗踊り保存会	熊本県	三部区	神奈川	三増獅子舞保存会
千葉県	八幡神社の獅子舞保存会	大分県	中尾獅子浮立と唐子踊保存会	富山県	宮崎神楽保存会
東京都	星竹囃子連	宮崎県	宝川内志賀段七踊り保存会	長野県	和田中神社太神楽保存会
新潟県	内島見神楽保存会	鹿児島	田原獅子保存会		上駒沢祭典保存会
石川県	二所宮獅子舞保存会	沖縄県	川内棒踊保存会	愛知県	向山神楽獅子保存会
福井県	長畝日向神楽保存会		久見崎盆踊り「想夫恋」保存会	三重県	水沢お諏訪おどり保存会
山梨県	藤木道祖神祭保存会	平成18年度助成(37)		滋賀県	ずいき祭保存会
長野県	山新田大神楽保存・育成会	北海道	元更別大国神社石見神楽保存会	京都府	丹後藤布振興会*
愛知県	名古屋港筏師一本乗り保存会	青森県	斗内獅子舞保存会	大阪府	大阪太鼓文化研究会*
三重県	矢浜神楽保存会	岩手県	豊沢大念佛剣舞保存会		
滋賀県	大原学区豊年太鼓踊り保存会				
京都府	田山花踊り保存会				

平成3年～令和4年 都道府県別伝統文化助成先一覧(5) \*印は民俗技術

助成先		助成先		助成先	
				平成19年度助成(続き)	
長野県	玉依比賣命神社	青森県	乳井獅子保存会	兵庫県	小野原住吉神社神舞保存会
岐阜県	加納まちづくり会(和傘製作)*	岩手県	四ツ堰鹿子踊り保存会	岡山県	栗井春日歌舞伎保存会
静岡県	巖室神社鎮火祭保存会		村崎野大乘神楽保存会	広島県	長尾神社湯立神楽保存会
愛知県	有松天満社文嶺講	宮城県	中新田火伏せの虎舞保存会	山口県	藤生神楽保存会
三重県	牛蒡祭保存会	秋田県	梅内郷土芸能保存会	徳島県	上八万伝統文化を守る会
滋賀県	志賀神社氏子総代	福島県	渡戸高野・鯨組	香川県	賀茂神社長床神事保存会
大阪府	三ツ松明土行念仏保存会	栃木県	文挾流手岡獅子舞講中	愛媛県	かぶと踊り保存会
兵庫県	北野まつり保存会	群馬県	新井八幡宮獅子舞保存会	高知県	東洋町流鏝馬保存協議会
奈良県	惣谷狂言保存会	埼玉県	北袋囃子連	熊本県	大浦獅子保存会
鳥取県	向垣神社祭礼行事保存会	千葉県	不入斗同志会	熊本県	柳別府太鼓踊り保存会
島根県	玉若酢命神社御霊会風流保存会	東京都	代々木囃子保存会	大分県	深山流朝地神楽保存会
岡山県	佐方子供吉備神楽伝承教室		山田獅子舞保存会	宮崎県	郷之原神社芸能協賛会
広島県	おおたけ手すき和紙保存会*	神奈川	小向獅子舞保存会	鹿児島	鮫島健志氏(加世田の鍛冶)*
山口県	山代白羽神楽保存会	新潟県	羽森神社神楽舞保存会		如竹踊り保存会
徳島県	橘だんじり祭り獅子組	富山県	櫛山獅子舞保存会	沖縄県	古見民俗芸能保存会
愛媛県	北方獅子舞保存会	石川県	門前とどろ保存会	平成20年度助成(40)	
高知県	シットロト踊り保存会	長野県	町区太々神楽実行委員会	北海道	寿都松前神楽保存会
福岡県	鷹尾神社伝統芸能文化保存維持会		高岡道祖神日待占祭保存会	青森県	上十川獅子踊保存会
佐賀県	母ヶ浦面浮立保存会	静岡県	笹間神楽保存会	岩手県	都鳥田植踊保存会
長崎県	平島盆踊り保存会	愛知県	日下部太鼓保存会	宮城県	日高見流浅部法印神楽保存会
熊本県	栖本町郷土芸能保存会	三重県	大江羯鼓踊保存会	秋田県	鳥海山小滝舞楽保存会
大分県	新町自治会	滋賀県	中堀町自治会孔明祈水山保存会	山形県	舟渡獅子踊り保存会
宮崎県	高木郷土芸能保存会	京都府	質美下村区文化財保存委員会	福島県	北萱浜神楽愛好会
沖縄県	都城市高城町桜木あげ馬保存会	兵庫県	日吉神社龍王の舞及び祝詞太鼓保存会	栃木県	下鉢石町自治会
	鳩間民俗芸能保存会		福住下自治会		宝積寺白鬚神社雅楽部
平成23年度助成(42)		奈良県	八島町六斎念仏講	群馬県	椿名神社太々神楽保存会
北海道	糠内獅子舞保存会	和歌山	南道奴行列保存会	埼玉県	脚折雨乞行事保存会
青森県	同心町熊野神社神楽連	鳥取県	江波三番叟保存会	千葉県	岩沼の獅子舞保存会
岩手県	外山神楽保存会	島根県	八神神楽団	東京都	田無ばやし保存会
宮城県	熊野堂神楽・舞楽・十二神鹿踊保存会		高津沖田地区環境保全向上対策協議会*	神奈川	海南神社行道面保存会
秋田県	福嶋サイサイ囃子保存会	岡山県	宇甘神社獅子舞保存会	新潟県	他門神楽保存会
山形県	若宮八幡神社太々神楽保存会	広島県	富士神楽団		半田神社神楽舞保存会
福島県	杉沢愛宕神社三匹獅子保存会	徳島県	特定非営利活動法人赤松煙火保存会*	富山県	八口諏訪社獅子舞保存会
群馬県	美茂呂町屋台囃子保存会	香川県	和田雨乞踊保存会	山梨県	大垣外獅子舞保存会
埼玉県	白久串人形芝居保存会	福岡県	上久原白山宮獅子舞保存会	岐阜県	美濃歌舞伎保存会
千葉県	旅名鞆鼓舞保存会	佐賀県	自然と暮らしを考える研究会*	静岡県	掛塚屋台囃子保存会
東京都	鹿島流獅子舞引田保存会	長崎県	権常寺浮立保存会	愛知県	六ツ師獅子舞保存会
	諏訪神社崇敬会	熊本県	竹迫観音祭保存会	三重県	生桑長松神社鏡餅奉納会
神奈川	川名屋台ばやし保存会	熊本県	黒辺田野臼太鼓踊保存会	滋賀県	曾原獅子舞踊保存会
新潟県	天神林天満宮伶人会	鹿児島	塩田次郎氏(薩摩琵琶製作)*		篠田の花火保存会*
富山県	田島自治会	沖縄県	黒島民俗芸能保存会	大阪府	だいがく保存会
福井県	宇波西神社神事芸能保存会	平成22年度助成(42)		奈良県	川西町保田自治会
山梨県	山梨岡神社舞子	青森県	二ツ森神楽芸能保存会	和歌山	ねんねこ祭保存会
長野県	NPO法人小谷山村留学育成会*	岩手県	門中組振興会	島根県	岩野原獅子舞保存会
岐阜県	八幡神社祭礼運営委員会	宮城県	佐藤明彦氏(堤人形製作)*	岡山県	福石神楽団
静岡県	東光寺猿舞保存会	秋田県	冬師番楽保存会	広島県	名字獅子舞保存会
愛知県	中之切奉賛会	山形県	西袋獅子踊保存会	広島県	五日市芸能保存会
三重県	立神自治会	福島県	菅波伝統文化継承会	徳島県	後山からくり襖絵保存会
京都府	周枳民芸保存会	茨城県	あおき囃子連	香川県	流水灌頂法要保存会
大阪府	野崎第一地車保存会	栃木県	河井獅子舞保存会	福岡県	下町獅子山保存会
兵庫県	淡路人形浄瑠璃青年研究会	群馬県	木崎音頭保存会	長崎県	上原浮立保存会
奈良県	神波多神社獅子神楽保存会	埼玉県	三若会	熊本県	川島神楽連
島根県	出雲國奏楽錬成会		柏合獅子舞保存会		都呂々獅子舞太鼓踊り保存会
広島県	大朝飾り牛保存会	千葉県	熊野神社神楽保存会	宮崎県	入下神楽保存会
山口県	お手廻り保存会	東京都	上本郷獅子講中	鹿児島	前野田植唄民謡保存会
徳島県	大谷郷土文化保存会	新潟県	檜立踊り保存会	沖縄県	船浮民俗芸能保存会
香川県	七宝古流本村夫婦獅子舞保存会	富山県	川根谷内獅子保存会	平成21年度助成(42)	
愛媛県	佐方獅子保存会	石川県	福島青年親交会	北海道	大船南部神楽保存会
高知県	大利太刀踊保存会		小松尾小屋鶯保存会		

平成3年～令和4年 都道府県別伝統文化助成先一覧(6) \*印は民俗技術

助成先		助成先		助成先	
埼玉県	赤沼民俗文化財保存会	熊本県	東浦臼太鼓踊り保存会	平成23年度助成(続き)	
	久長元耕地獅子舞保存会		大分県	北原人形芝居保存会	福岡県
千葉県	道庭獅子連保存会	宮崎県	不土野芸能保存会	佐賀県	平八月祭り保存会
	東京都	八幡囃子保存会	鹿児島	土踊保存会	長崎県
神奈川県	台祭囃子保存会	沖縄県	童子八月踊り研究会	熊本県	馬場本浮立保存会
	新潟県	水沢伝統芸能保存会	豊見城市 高安自治会	大分県	小屋川内獅子舞保存会
富山県	加茂神社神事伝承会	平成25年度助成(42)		宮崎県	重岡岩戸神楽保存会
	石川県	内灘町宮坂区	青森県	上川目神楽保存会	鹿児島
福井県	鈴鹿区大太鼓保存会	岩手県	大石町内会	沖縄県	西上太鼓踊り保存会
	山梨県	一之瀬高橋春駒保存会	宮城県	築館大乘神楽保存会	平成24年度助成(54)
長野県	根神社式三番叟保存会	秋田県	釜ヶ台番楽保存会	青森県	五戸えんぶり組
	岐阜県	綾野第4自治会綾野祭軸狸々軸保存会	山形県	中獅子踊り保存会	岩手県
愛知県	上名和祭りばやし保存会	福島県	和田神社太々神楽保存会	宮城県	片岸虎舞保存会
	東大高祭禮保存会	茨城県	久保田おほやし保存会		山岸さんさ踊り保存会
滋賀県	下笠参弥礼踊り保存会	栃木県	万町一丁目東自治会	浪板虎舞保存会	
京都府	出雲風流花踊り保存会	群馬県	新田赤堀獅子舞保存会	磯草虎舞保存会	
	NPO法人丹波漆*	埼玉県	北本宿囃子連	大谷大漁唄い込み保存会	
大阪府	延喜式内社 岐尼神社	千葉県	関下囃子	長塩谷南部神楽保存会	
	和歌山	池田秀孝氏(紀州高野組子細工技術)*	東京都	檜原村春日神社御飼神事保存会	
鳥取県	服部神社獅子舞保存会	新潟県	長沢祭典実行委員会	大室南部神楽保存会	
	島根県	玉造調理師会	富山県	打出青壮年部	相川南部神楽保存会
広島県	山波神楽団	石川県	串町町内会	仙台堆朱*	
	山口県	住吉神社御船謡保存会	福井県	関見神社例祭神事保存会	秋田県
徳島県	鳴門大凧保存会	山梨県	新町お囃子保存会	山形県	大谷神楽保存会
	香川県	石切唄保存会	岐阜県	NPO法人グリーンウッドワーク協会・竹部会*	福島県
愛媛県	掛木天満宮「牛鬼」保存会	愛知県	愛知・半田・板山万歳保存会	新館太々神楽保存会	
	高知県	御田八幡宮秋の例祭保存会	三重県	東玉垣唐人踊り保存会	鹿島神社郷土芸能保存会
福岡県	柳川市立柳河小学校	滋賀県	鍋冠祭保存会	天命鑄物伝承保存会*	
	→特別クラブ「子どもどろつくどん」	大阪府	御領地車保存会	白瀧神社太々神楽保存会	
佐賀県	川上鉦浮立保存会	兵庫県	羽淵獅子舞保存会	下小坂獅子舞保存会	
長崎県	東上面浮立保存会	奈良県	吐山太鼓踊り保存会	千葉県	飯岡ばやし 日の出会
	熊本県	熊本新町獅子保存会	和歌山	三船踊り保存会	東京都
宮崎県	細江神楽保存会	島根県	美保神社神事奉賛会	新潟県	大谷地和紙保存会*
	風田製糖組合*	岡山県	佐方ひがさき踊り保存会	蔵王稚児舞の会	
鹿児島	花尾太鼓踊り保存会	広島県	錦城神楽団	富山県	加茂神社神事伝承会
	沖縄県	勢理客区	山口県	滝坂神楽舞保存会	石川県
平成27年度助成(44)		徳島県	宿毛谷獅子舞保存会	福井県	多賀区獅子保存会
北海道	遠矢神楽舞保存会	愛媛県	NPO法人金栄会	山梨県	中之倉神楽保存会
	青森県	甲地神楽保存会	高知県	四ツ白武士踊り会	長野県
岩手県	小通芸能保存会	福岡県	安武楽保存会	岐阜県	河鹿神社賀喜踊保存会
	槻沢芸能保存会	佐賀県	一般社団法人豊前小倉織研究会*	愛知県	万足平を考える会*
宮城県	葉茨神社三輪流神楽保存会	長崎県	執行分浮立保存会	村木おまんと祭り保存会	
	秋田県	坂之下番楽保存会	熊本県	長崎明清楽保存会	三重県
山形県	綱木獅子踊り保存会	宮崎県	市房山神宮 里宮神社	滋賀県	小野町太鼓踊保存会
	茨城県	古内大杉ばやし保存会	鹿児島	長坂なれなれなすび踊り保存会	大阪府
栃木県	天下一関白流西組獅子舞保存会	鹿児島	黒潮太鼓	兵庫県	西町獅子舞保存会
	埼玉県	久那獅子舞保存会	平成26年度助成(44)		奈良県
千葉県	金鑽神楽永田組	北海道	美和権現獅子舞保存会	和歌山	堅田祭保存会
	坂戸の踊躍念佛講	青森県	目名神楽会	岡山県	大浦神社
東京都	大宮前郷土芸能保存会	岩手県	の組菱和会	広島県	御調八幡宮花の踊り保存会
	多摩めかいの会*	宮城県	白浜自治会	山口県	上野神楽舞保存会
神奈川県	根府川寺山神社鹿島踊保存会	山形県	舟渡獅子踊り保存会	徳島県	森藤獅子舞保存会
	新潟県	昔かたり春よこい	福島県	松岡若連	香川県
富山県	広野自治会	栃木県	日光囃子保存会	愛媛県	井原圭子氏(和紙用簀製作)*
	石川県	神子原壮年団	群馬県	津久田人形操作伝承委員会	高知県
長野県	日和山神社芸能保存会	埼玉県	今成地区山車・囃子保存会	福岡県	植木の三申踊保存会
	岐阜県	綾野第三自治会小獅子軸保存会			佐賀県
愛知県	知立神社神楽保存会			長崎県	森山本村郷土芸能保存会
	三重県	若宮八幡神社北村石取り祭車保存会			

平成3年～令和4年 都道府県別伝統文化助成先一覧(7) \*印は民俗技術

助成先		助成先		助成先	
岩手県	大槌城山虎舞	佐賀県	宮野浮立保存会	平成27年度助成(続き)	
宮城県	宮刈田嶺神社附属神楽組	長崎県	横尾だんじり保存会	滋賀県	大野木豊年太鼓踊保存会
秋田県	鹿角紫根染・茜染研究会* 板戸番楽保存会	熊本県	東方組太鼓踊り保存会	京都府	玉田神社「宮座」森当座
山形県	致芳地区文化振興会	大分県	岡倉神楽保存会	大阪府	中垣内地車保存会
福島県	磐梯町本寺区 門鹿王子神社太々神楽保存会	宮崎県	酒谷地区むらおこし推進協議会	兵庫県	土師獅子舞保存会
栃木県	天下一閣白神獅子舞保存会	鹿児島県	止上神社神舞保存会	奈良県	篠原おどり保存会
群馬県	八木原諏訪神社太々神楽舞子会	沖縄県	友寄獅子舞棒術保存会	和歌山	亀の川念仏踊り保存会
埼玉県	金鑽神楽岡部組保存会	崎原克友 氏(八重山上布製作)*		鳥取県	菖蒲神社麒麟獅子舞保存会
千葉県	賀茂神社民俗芸能保存会	平成29年度助成(43)		島根県	三谷神社獅子舞保存会
東京都	青梅市虎柏神社祭礼行事保存会	北海道	有明獅子舞有志の会	広島県	山根神楽団
新潟県	赤塚太々神楽保存会	青森県	国吉獅子踊保存会		おたけ手すきと紙保存会*
福井県	田井野区・多由比神社伝統芸能保存会	岩手県	篠木神楽保存会	山口県	切山歌舞伎保存会
長野県	野辺町来迎念仏講	秋田県	平泉流細野念仏剣舞	徳島県	池谷郷土芸能保存会
岐阜県	東座歌舞伎保存会	山形県	脇本山車どんど保存会	愛媛県	井原圭子氏(伊予寶製作)*
静岡県	東光寺猿舞保存会	福島県	亀田大神楽神楽講	福岡県	永井獅子保存会
愛知県	藤江神社八ッ頭舞楽保存会	栃木県	岩根沢太々神楽保存会	佐賀県	浮立・荒踊り保存会
三重県	田口念佛踊継承会	埼玉県	荒獅子保存会	長崎県	命婦の舞保存会
滋賀県	黒川花笠太鼓踊り保存会	千葉県	伊王野下町祭保存会	熊本県	仲町の茶わん鉢保存会
和歌山	広川町古典芸能保存会	東京都	東不動院野神楽保存会		宇土市轟泉簡易水道組合*
鳥取県	秋里伝統文化を保存する会	神奈川県	古久喜獅子舞保存会	大分県	堅浦古典芸能保存会
島根県	三葛神楽保持者会	東京都	熊野神社神楽保存会	宮崎県	神下俵踊り保存会
山口県	豊原地区腰輪踊り保存会	神奈川	清水ばやし保存会	鹿児島県	目手久民謡保存会
徳島県	信正鉦踊り保存会	新潟県	野比中村虎踊り保存会	沖縄県	仲西獅子舞保存会
香川県	櫃石ももて祭保存会	石川県	浦瀬町奏楽保存会	平成28年度助成(43)	
愛媛県	天神花踊り保存会	福井県	柴垣壮年団	北海道	寿都松前神楽保存会
高知県	佐喜浜八幡宮古式行事保存会	長野県	津島区神楽保存会	青森県	入口青年会
福岡県	博多鉦製作技術保存会* 前田の盆踊保存会	岐阜県	小市神楽舞子保存会	岩手県	嘉瀬奴踊り保存会
佐賀県	下新ヶ江地区沖ノ島太鼓浮立保存会	静岡県	関市獅子舞保存会	宮城県	遠野郷板澤しし踊り保存会
長崎県	正山八ノ川青年団	愛知県	岐阜和傘プロジェク外実行委員会*	秋田県	赤谷神楽保存会
熊本県	清源寺神楽保存会	三重県	江浦伝統文化保存会	山形県	鳥海山小滝舞楽保存会
大分県	山香神楽保存会	滋賀県	出川町棒ノ手保存会	福島県	清川獅子神楽実行部会
宮崎県	比木神社神楽会	大阪府	大淀東区自治会		太田川梅若和讃唄念仏踊保存会
鹿児島県	竹田神社からくり保存会	和歌山	井之口太鼓踊保存会	栃木県	梅田三匹獅子舞保存会
沖縄県	松原自治会	鳥取県	大東市中垣内自治会	群馬県	大沢獅子舞保存会
令和元年度助成(42)		島根県	太地町民芸保存会 寄水青年同志会	埼玉県	鷲宮太々神楽保存会
青森県	八戸市島守小学校神楽クラブ	岡山県	波津神社獅子舞保存会	埼玉県	粟生田囃子会
岩手県	八幡大神楽保存会	広島県	深野神楽こども教室		新久はやし保存会
宮城県	秋保神社神楽保存会	山口県	仕組踊り保存会 城扇	千葉県	家之子獅子連郷土芸能保存会
秋田県	大湯太鼓保存会	徳島県	上河内獅子舞保存会	東京都	森山はやし保存会
山形県	仙道番楽保存会	山口県	徳地人形浄瑠璃保存会	神奈川	田村ばやし保存会
茨城県	鍋田念佛講保存会	徳島県	池谷神踊り保存会	新潟県	小川連中
栃木県	古河神楽保存会	香川県	賀茂神社長床神事保存会	富山県	岩瀬白山町曳山愛好会
群馬県	大神神社神楽保存会	福岡県	水田天満宮稚児風流保存会	福井県	日吉青年会
埼玉県	市祇園囃子保存会	佐賀県	納富分浮立保存会	長野県	影山区
埼玉県	戸口囃子会	長崎県	東浜町一組女相撲保存会	愛知県	白山神社奉納雅楽舞踊保存会
	武甲山御嶽神社里宮太々神楽保存会	熊本県	菊池市下出田区、植古閑区	三重県	牛蒡祭保存会
	諏訪万作保存会	大分県	三輪流臼杵神楽保存会	滋賀県	金居原太鼓踊り保存会
千葉県	岩沼の獅子舞保存会	宮崎県	麓輪太鼓踊り保存会	京都府	福知山市佛性寺自治会
東京都	檜立太鼓会	鹿児島県	ナゴシンのつなぎ手事業	兵庫県	熊野神社浄舞保存会
富山県	広野自治会	沖縄県	コンシー踊り保存会	奈良県	龍口獅子舞保存会
石川県	川尻会 獅子舞響		新里民俗芸能保存会	和歌山	土生八幡神社「お頭保存会」
福井県	高浜七年祭保存会	伊是名区		鳥取県	大和佐美命神社獅子舞保存会
山梨県	小伏獅子舞保存会	平成30年度助成(43)		島根県	野石谷伝統芸能保存会
長野県	根神社式三番叟保存会	北海道	砂川もちつき保存会	広島県	下板木コミュニティー
岐阜県	杉山是清氏(飛騨わらび製縄)*		越中踊り子供保存会	山口県	むつみ神楽保存会
静岡県	伊豆島田区不動尊講	青森県	留萌若戸神楽保存会	徳島県	東辻郷獅子舞社丹連保存会
		岩手県	柏木町荒馬保存会	愛媛県	NPO法人姫だるまプロジェクト*
			八幡崎郷土芸能保存会	高知県	日高村太刀踊保存会
			善楽流獅子舞保存会	福岡県	元岡祇園ばやし保存会

平成3年～令和4年 都道府県別伝統文化助成先一覧(8) \*印は民俗技術

助成先		助成先		助成先		
栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川	三本木獅子舞保存会	熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島 沖縄県	永尾ちよぼくれ保存会	<b>令和元年度助成(続き)</b>		
	八幡原太々神楽保存会		柳別府太鼓踊り保存会	愛知県	勝幡おこわまつり保存会	
新潟県 富山県 山梨県 長野県	野々宮獅子舞保存会	<b>令和3年度助成(43)</b>	宝楽保存会	三重県	下門祭礼保存会	
	相野谷郷土芸能保存会		日南市泰平踊本町組保存会	滋賀県	鳥原歌舞伎愛好会	
愛知県	代々木囃子保存会	北海道 青森県	大崎伝統芸能神舞保存会	三重県	五ヶ所浦区	
	曾我別所寿獅子舞保存会		宮城ウシデーク保存会	滋賀県	古屋六斎念仏踊保存会	
滋賀県 京都府 兵庫県 和歌山 島根県 岡山県 広島県 山口県	大谷はやし連	岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県 茨城県 栃木県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川 新潟県 富山県 山梨県 長野県	上ノ国昔踊り保存会	大阪府	中佐備町会	
	赤倉神楽保存会		湊えんぶり組	兵庫県	下浜三番叟保存会	
徳島県	広野自治会	京都府	浅井獅子踊保存会	奈良県	紅しで踊り保存会	
	尾張旭市新居地区馬の塔保存会		田子町ナニヤドヤラ保存会	鳥取県	逢東盆踊り保存会	
香川県 愛媛県 高知県 福岡県	向山区神楽獅子保存会	岐阜県 愛知県	犬吠森念仏剣舞保存会	島根県	土江子ども神楽団	
	足助宮町お囃子保存会		築館大乘神楽保存会	山口県	末田焼物の里保存会*	
宮崎県	足助宮町お囃子保存会	徳島県	築館大乘神楽保存会	徳島県	七成会	
	大荒比古神社奴振り保存会		古式獅子舞保存会	愛媛県	下吾川獅子舞保存会	
宮崎県	平自治会	徳島県	東長野ささら保存会	高知県	大谷花取踊保存会	
	お弓神事保存会		釜ヶ台番楽保存会	福岡県	沼楽保存会	
宮崎県	戲瓢踊保存会	徳島県	大谷獅子舞保存会	佐賀県	龍宿浦面浮立保存会	
	宅野神楽団		芳賀須内青年会	長崎県	島原木綿織保存会*	
宮崎県	作州緋保存会*	徳島県	東牛谷お囃子保存会	大分県	狩立オネオンデ保存会	
	津田神楽団		大神神社伶人保存会	宮崎県	玖珠神楽神社	
宮崎県	北河内神楽舞保存会	徳島県	塚越囃子連	沖縄県	志多伯獅子舞棒術保存会	
	下津令大神楽保存会		榎川神楽保存会	<b>令和2年度助成(42)</b>		
徳島県	下津令大神楽保存会	徳島県	留原囃子保存会	青森県	塩釜神楽保存会	
	姫田獅子舞保存会		宮城野獅子舞保存会	岩手県	青笹町しし踊り保存会	
徳島県	榎木獅子舞保存会	徳島県	榎下町稚児舞保存会	宮城県	白石和紙 蔵富人*	
	認定NPO法人農村歌舞伎祇園座保存会		廣野自治会	宮城県	塩竈神楽保存会	
愛媛県	牛鬼保存会	徳島県	向原下組道祖神御神木保存会	秋田県	上若郷土芸能保存会	
	尾崎太刀踊り保存会		和田神社御神楽芸能同志会	山形県	達磨寺田植踊り保存会	
高知県	竹の曲保存会	徳島県	萩原神社秋祭り実行委員会	福島県	海老根伝統手漉和紙保存整備事業実行委員会*	
	江上神社風流保存会		荒川松阪踊り保存会	茨城県	女沼ささら保存会	
佐賀県	沖永区自治会	徳島県	大留下棒の手保存会	栃木県	尾山神社白流獅子舞保存会	
	勝本祭り囃子保存会		常滑市小倉囃子保存会	群馬県	新井諏訪神社獅子舞保存会	
長崎県	宮崎昭行氏(木造和船製作)*	徳島県	河和山車保存会	埼玉県	金鑽神楽本庄組神楽保存会	
	菊池市下出田区、植古閑区		大住隼人舞保存会	千葉県	家之子獅子連郷土芸能保存会	
宮崎県	綾町唐人踊り保存会	徳島県	伊根町 亀島区	東京都	大戸囃子保存会	
	<b>累計助成件数 1,352件</b>		奈良県 和歌山 島根県 広島県	紀州製竿組合*	神奈川	相模人形芝居 前鳥座
出雲國大原神職神楽保存会		新潟県		関山神社仮山伏伝承会		
宮崎県	徳島県	島根県	宮之庄神楽団	富山県	稗田伝統文化保存会	
			宗教法人 須佐神社	石川県	中央町中思会	
宮崎県	徳島県	島根県	勝瑞獅子保存会	福井県	三国祭囃子 初香会	
			山本長刀踊保存会	長野県	中萱紫石会	
宮崎県	徳島県	島根県	船戸花取踊り保存会	岐阜県	青墓大太鼓踊りを守る会	
			今宿青木獅子舞保存会	愛知県	古布区古布獅子舞保存会	
宮崎県	徳島県	島根県	戸杓浮立保存会	三重県	尾張旭市印場北部地区警固祭り保存会	
			高浜相撲協会	滋賀県	立岡虫送り保存会	
宮崎県	徳島県	島根県	立石楽継承活動応援隊	大阪府	朝日豊年太鼓踊保存会	
			阿鹿野獅子保存会	和歌山	摂州地車囃子かざら	
宮崎県	徳島県	島根県	土踊保存会	和歌山	根来塗曙山会*	
			伊集の打花鼓保存会	島根県	顯國神社三面保存会	
宮崎県	徳島県	島根県	<b>令和4年度助成(45)</b>		出雲大社教神代神楽 西日登神楽社中	
			北海道	月浦獅子舞保存会	広島県	田熊神代神楽保存会
宮崎県	徳島県	島根県	岩手県	江刺家神楽保存会	山口県	下関平家踊保存会西山連
			宮城県	中浜神楽保存会	徳島県	穴喰祇園祭お能保存会
宮崎県	徳島県	島根県	佐沼鹿踊伝承会	香川県	原獅子組	
			秋田県	新沢八幡神社獅子舞講	高知県	浮津西町鯨舟の唄保存会
宮崎県	徳島県	島根県	中山町川向金比羅樽流し保存会	福岡県	松会保存会	
			福島県	横沢の麓山まつり保存会	佐賀県	米多浮立保存会
宮崎県	徳島県	島根県	日立郷土芸能保存会	長崎県	長坂浮立保存会	

